

令和6年度 シラバス

教 科	農 業	学科・学年	生産科学科 第2学年	単位数	2単位
		教科書	地域資源活用（実教出版）		
科 目	地域資源活用	副教材	なし		
科目の目標	農林業・農山村の特色を生かした生活体験を提供する活動に必要な知識と技術を習得させ、地域資源の有用性を理解させるとともに、地域に根ざした事業の振興に寄与できる能力と態度を育てる。				
評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【主】		
趣 旨	農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する基礎的な知識を身に付け、農林業・農山村の特色や地域資源重要性を理解している。	農林業・農山村の特色や地域資源の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識や技術を基に諸課題を合理的に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	農林業・農山村の特色や地域資源に興味・関心を持ち、農林業・農山村の現状や課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。		

学期	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	主		
一 学 期	第1章 地域資源活用とは 1 地域資源とその活用 2 プロジェクト学習	○農山村および都市の歴史や役割の変化について理解させる。 ○農山村における自然と共生した暮らしについて理解させる。	○			農山村および都市の歴史や役割の変化、自然と共生した暮らし、農的空間の現状と意義に関する知識を身に付けている。	・授業（座学）・ 実習への取り組み 方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理作業の目的的理解
	第2章 農山村の変化と地域振興 1 農山村と都市の現状と変化 2 地域活性化に向けた取組	○都市での農的空間の現状と意義について理解させる。 ○地域社会のコミュニティの変化と現状・課題について理解させる。 ○社会を支える公共、社会・経済活動について理解させる。		○		農林業・農山村の特色や地域資源に興味・関心を持ち、その今日的な現状と課題について探求しようとしている。 新たな社会の価値観を理解し、興味・関心を持ち、地域資源活用について思考を深める。	
二 学 期	第3章 地域資源活用の意義と役割 1 地域資源の魅力と価値 2 地域振興に向けた施策と取組 3 異業種連携と商品価値の創造	○農林業の特徴を知り、その魅力を理解させる。 ○農山村の特徴を知り、その魅力を理解させる。 ○アグリビジネスなどを取り入れた新たな魅力を理解させる。 ○身近な地域を調査して、地域資源を発掘し、資源の磨き方について理解させる。	○			他分野との連携について理解している。 市民農園・観光農園の特徴、種類、役割について理解している。 世界や日本における事例を理解している。	・授業（座学）・ 実習への取り組み 方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理作業の目的的理解
				○		都市と農山村の共生・対流について興味・関心を持ち、そのライフスタイルを理解している。 農山村が持つ食料生産以外の多様な機能について探求し思考を深めようとしている。	
					○		
三 学 期	4 地域資源活用の実践 5 情報の活用と発信	○地域資源の保全と活用に関して、農村の暮らしの歴史から今を知り、これからの資源の様々な活用方法を理解させる。 ○ワークショップの方法について理解させる。	○			直売所・農家レストランの特徴と広がりについて理解している。 直売所・農家レストランの運営方法について理解している。 商品開発について理解している。	・授業（座学）・ 実習への取り組み 方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理作業の目的的理解
				○		商品開発の方法について、基礎的な知識や技術を基に合理的に判断し、その過程を表現することができる。	
					○		